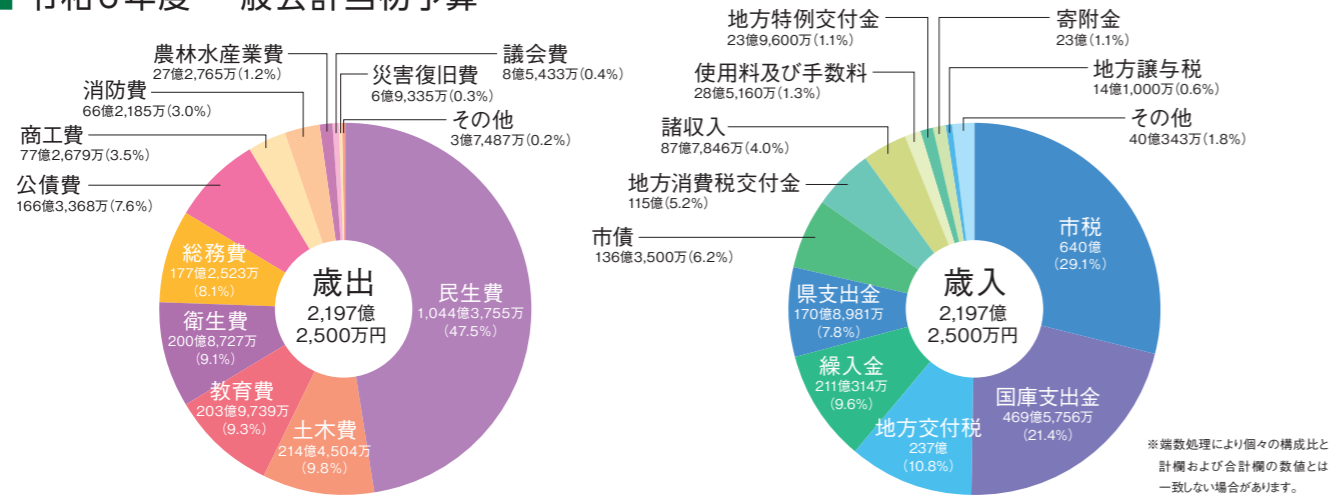


松山市プロフィール

Matsuyama City Profile

令和6年度 一般会計当初予算



市勢

面積と推計人口	
面積	429.35km ²
総人口	501,670人
人口密度	1,168人
世帯数	244,220世帯
(令和6年1月1日)	
自然動態	
出生	1,616人
死亡	3,247人
自然増加	-3,426人
社会動態	
転入など	8,403人
転出など	8,680人
社会増加	-208人
人口増加	-3,634人
(令和5年)	

教育・産業経済・施設設備

学校施設	
幼稚園	41園
小学校	60校
中学校	32校
高等学校	16校
大学・短大	8校
(令和4年5月)	
就学人口	
幼稚園	5,588人
小学校	26,446人
中学校	13,122人
高等学校	14,258人
大学・短大	17,033人
(令和4年5月)	
産業別就業者数	
総数	213,929人
・第一次産業	5,864人
・第二次産業	36,493人
・第三次産業	164,609人
・分類不能	6,963人
(令和2年)	
救急車出動件数	
総数	28,390件
・交通事故	2,058件
・一般負傷	3,962件
・急病	17,882件
・その他	4,488件
(令和4年)	
公園	
総数	344
面積	390.20ha
・街区公園	207
・近隣公園	16
・地区公園	1
・総合公園	4
・その他	116
(令和4年4月1日)	
医療施設	
総数	785
・病院	41
・診療所	495
・歯科診療所	249
(令和4年末)	
水道	
給水普及率	96.9%
年間総給水量	48,908,320m ³
1日平均給水量	133,995m ³
1人1日平均給水量	282ℓ
(令和4年度)	
道路事情	
総数	2,189,790m
・国道延長	93,407m
・県道延長	294,131m
・市道延長	1,802,252m
市道舗装率	95.4%
(令和3年4月1日)	

市章

松山市出身の画家・下村為山(しもむらいざん)の考案。松と山を図案化して「松山」を表現したものです。
(明治44年4月7日制定)

市花: つばき

松山市内の野山や神社の境内には、古くからつばきが多く植えられ、歴史・文化的にも市民生活の中に根づき親しまれています。
(昭和47年4月1日制定)

気候

平均気温16.5度の温暖な瀬戸内海気候。年間日照時間は2,000時間を超え、全国平均を大きく上回ります。年間降水量は約1,300mmで、6月に多く12月に少ない夏雨型となっています。全体に降水量は少なめで、積雪もごく少量、台風の通過も太平洋側の高知県や徳島県に比べれば少なく、穏やかで恵まれた気候条件です。

位置

愛媛県のほぼ中央にある松山平野に位置しています。市役所は東経132度46分、北緯33度50分。東京と比べると経度で7度ほどの差があり、夜明けと日没はともに28分ほど遅くなります。

地形・地質

松山市は、北西部の瀬戸内海に浮かぶ中島から高縄山系のすそ野の平野を経て、重信川と石手川により形成された松山平野へと広がっています。

松山市の歌

作詞/大野 志津根 作曲/芥川 也寸志 (昭和54年2月21日制定)

明るい日ざしの そそぐ町 歴史の生きている 城下町 恵み豊かな 川がある
やさしい心と 夢がある くんでもつけない 湯の香り 世界にひろがる 海がある
緑あふれる そだつ文化の 今日伸びゆく
緑の松山 松山市 文化の松山 松山市 伸びゆく松山 松山市
話そうみんなで 声かけて つなぐ手と手が 輪になって あなたとわたしの ほほ笑みが
より合う糸が 愛になる 幸せ運ぶ 虹になる あしたは開く 花になる

松山市ホームページ

松山市

<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

Honorary Citizens 名誉市民

名誉市民

社会文化、産業の進展に貢献し、その功績のあった方に対して「松山市名誉市民」の称号を贈り、これを顕彰します。(松山市名誉市民条例)

柳原 極堂氏 (本名 正之)
Yanagihara Kyokudo
慶応3年2月11日～昭和32年10月7日

正岡子規に師事し、俳句に精通。師の死後はその顕彰に一生を捧げ、俳都松山の名声を広めた。また、多年にわたり地方文化の向上、市政の発展に貢献された。
(昭和32年7月1日授与)

景浦 稚桃氏 (本名 直孝)
Kageura Chito
明治8年7月12日～昭和37年8月19日

多年にわたり、小・中学校教員を歴任の後、郷土史の研究に没頭。未踏の分野を開拓し、伊予史談会を設立。また、子規会会長としても活躍された。
(昭和35年1月4日授与)

西村 清雄氏
Nishimura Sugao
明治4年2月13日～昭和39年12月25日

60有余年の長きにわたり教育界にあって私学の振興に努め、社会教育・青少年教育に献身。地域社会の進展に著しく貢献された。
(昭和37年3月26日授与)

黒田 政一氏
Kuroda Masaichi
明治18年9月13日～昭和50年8月4日

松山市長として4期(13年)にわたり、戦災復興事業や港湾事業整備を推進し、今日の健全財政の基礎の構築に尽力。市政の推進と市民福祉の増進に努められ、多大な功績を残された。
(昭和49年3月26日授与)

久松 定武氏
Hisamatsu Sadatake
明治32年4月29日～平成7年6月7日

愛媛県知事として5期(20年)にわたり、道前道後水利開発事業をはじめ、産業や文化の振興に貢献。また、国民体育大会の松山市開催など県都松山の発展に尽くされ、多大な功績を残された。
(昭和52年10月3日授与)

宇都宮 孝平氏
Utsunomiya Kohci
明治30年5月6日～昭和63年5月18日

松山市長として3期(12年)にわたり、石手川ダムや市民会館の建設をはじめ、生活環境、教育、福祉施設の整備に尽力。市政の進展と市民福祉の増進に努められ、多大な功績を残された。
(昭和52年10月3日授与)

特別名誉市民

親善そのほかの目的で市の賓客として来訪した外国の方、または松山市に移住していた外国の方で、市の産業の振興や社会福祉の増進、学術や芸術など文化の進展に功績のあった方に対して「特別名誉市民」の称号を贈り、これを顕彰します。(松山市名誉市民条例)

エドウィーン・O・ライシャワー
Edwin O. Reischauer
駐日アメリカ大使 (U.S.A.)
昭和38年3月14日授与

ルーシー・メープル・フランシス
R. Mabel Francis
駐日オーストラリア大使 (AUSTRALIA)
昭和40年6月28日授与 (U.S.A.)

オイゲン・カイデル
Dr. Jur Eugen Keidel
西ドイツ・フライブルク市長 (W. GERMANY)
昭和52年10月19日授与

マイケル・ウィルフオード
Sir Michael Wilford
駐日イギリス大使 (ENGLAND)
昭和53年4月25日授与

ハビエル・イグナシオ・オレア・ムニョス
Xavier Olea
駐日メキシコ大使 (MEXICO)
昭和54年9月13日授与

ヴァージニア・ミュラー
Virginia S. Mueller
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A.)
昭和56年4月2日授与

ジャクソン・ファウストマン
Dr. Jackson Faustman
サクラメント親善使節団長 (U.S.A.)
昭和56年4月2日授与

ヒュー・コータッチ
Sir Hugh Cortazzi
駐日イギリス大使 (ENGLAND)
昭和56年12月7日授与

ジェームス・プリムソル
Sir James Plimsoll
駐日オーストラリア大使 (AUSTRALIA)
昭和56年12月22日授与

カズオ・Z・ニノミヤ
Kazuo Z. Ninomiya
カガノコニノミヤ州立大学サクラメント校教授 松山サクラメント姉妹都市協会副会長 (U.S.A.)
昭和57年1月4日授与

アン・N・ルーディン
Anne N. Rudin
駐日アメリカ大使 (U.S.A.)
昭和59年4月2日授与

セルジオ・ゴンザレス・ガルベス
Dr. Dieter Salomon
駐日メキシコ大使 (MEXICO)
昭和59年12月20日授与

Dr. ユーリス・ロルフ・ベーム
Dr. Jur Rolf Bohme
駐日ドイツ大使 (GERMANY)
昭和60年4月17日授与

グスタフ・シュミート
Gustav Smud
駐日チェコスロバキア大使 (CZECHO-SLOVAKIA)
昭和60年7月4日授与

レイモンド・エンドレス
Dr. Raymond J. Endres
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A.)
昭和62年4月1日授与

フランク・ジョン・コーティ
Frank John Corti
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A.)
平成元年4月5日授与

ジョージ・S・オキ
George S. Oki
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A.)
平成元年4月5日授与

ジョー・サーナー・Jr
Joe Serna, Jr
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A.)
平成7年11月17日授与

ラルフ・T・スギモト・Jr
Ralpf T. Sugimoto, Jr
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A.)
平成8年5月22日授与

Dr. ディーター・サロモン
Dr. Dieter Salomon
ドイツ・フライブルク市長 (GERMANY)
平成15年10月27日授与

ヘザー・ファーゴ
Heather Fargo
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A.)
平成16年11月20日授与

ヘルマン・ファン・ロンパイ
Herman Van Rompuy
欧州理事会議長 (EU)
平成25年11月18日授与

郝 龍斌
Dr. Hau Lung-pin
台湾・台北市長 (Taiwan)
平成26年10月13日授与

孔 在光
Kong, Jae-kwang
韓国・平澤市長 (KOREA)
平成28年8月12日授与

市栄誉賞

松山市のイメージアップや公益に多大なご尽力をいただいた方に対して「市栄誉賞」の称号を贈り、これを顕彰します。

和田 茂樹氏
Wada Shigeki 明治44年4月12日～平成20年4月29日
子規記念博物館初代館長。愛媛大学名誉教授、教育者・研究者として郷土の文化振興に寄与。正岡子規の研究を通じて、短詩型文学の発展に努めた。子規の野球殿堂入りにも尽力された。
(平成14年7月12日授与)

千葉 茂氏
Chiba Shigeru 大正8年5月10日～平成14年12月9日
元プロ野球選手・野球評論家。名二塁手として巨人軍の第1・第2黄金期を築いた。近鉄監督も務め、昭和55年に野球殿堂入り。オールスターゲームの松山誘致に尽力された。
(平成14年7月12日授与)

天野 祐吉氏
Amano Yukichi 昭和8年4月27日～平成25年10月20日
コラムニスト。平成14年11月子規記念博物館館長に就任、「道後寄席」の実施など親しみやすい博物館づくりに尽力。また「ことばのちから事業」など本市の魅力向上事業に多大な貢献をされた。
(平成26年4月21日授与)

早坂 暁氏 (本名 富田 祥資)
Hayasaka Akira 昭和4年8月11日～平成29年12月16日
作家・脚本家。代表作「花へんろ」をはじめ、生まれ育った北条地区をたびたび作品に取り上げ、本市の全国的な周知に尽力。また市制100周年を記念して創設した「坊っちゃん文学賞」では、創設から30年にわたり審査員を務め、「ことばと文学のまち松山」の発展に貢献された。
(平成30年2月16日授与)